

.....編集後記.....

◆今月号は、昨年東京の石垣記念ホールで開催された第5回地質調査所研究講演会「地質図で表現された日本列島の素顔」から、一部を収録して特集した。地質調査所の中心的業務の一つである地質図幅の作成・出版を通して、各種地質図とりわけ1992年に出版された第3版「100万分の1日本地質図」には、長年にわたって蓄積されたデータをもとにした最新の日本列島の地質解釈が盛り込まれている。日本列島の地質やその成立過程については学会でも様々な議論があるところであるが、ここでは最近の大方の解釈が短い頁の中で簡潔に紹介されている。資源や環境問題を始め、少しでも多くの分野において、これらの基盤データが活用されるように紹介することが本特集の目的である。

◆ということで、今月号の口絵は、ちょっと趣向が変わり、各時代にわたる日本列島の典型的な地質図を示し、最新の解釈と表現を紹介した。本文を参照しながらご覧いただければ幸いである。

◆24頁の「二畳紀-ジュラ紀の放射虫化石帯区分」は悩んだ末、横向きの図にした。全体としての座りは悪いが、中・古生界の層序・構造解釈に革命をもたらしたという放射虫化石帯区分の図を少しでも大きく取り上げ利用して頂ければと考えた結果である。

◆平田岳史氏からは滞在中のサウザンプトン大学から直接、LaserProbe-ICP-MSの最新情報をご寄稿いただいた。一粒の粒子が語る地球生成の歴史もまた、あらたな革命の始まりかも知れない。

◆先に本欄でも紹介したが、筑波の地質調査所本館わきで現在進行中の「地圏情報棟」の工事現場では、いよいよコンクリートの打設が始まった。本特集で紹介したような各種の地質図も、いずれはCD-ROMなどの電子媒体やネットワークを通じて世界中のユーザーに直接提供される時代がくるのだろう。

〈編集委員長：小玉喜三郎 記〉

地質ニュース編集委員会

委員長：小玉喜三郎

副委員長：佐藤興平

幹事：宮崎光旗・奥村公男・石井武政

委員：今井登・岡村行信・杉原光彦・内田利弘・

野田徹郎・吉井守正・豊 遙秋・佐藤岱生

顧問：林 暉・石原舜三・大嶋和雄・高橋 博

事務局：総務部業務課広報係（畠山浩之・清水真寿美）

〒305 つくば市東1-1-3 地質調査所

地質ニュース編集委員会

事務局 Tel. 0298-54-3520

Fax. 0298-54-3533

地質ニュースに対するご意見は編集委員会へ

地 質 ニ ュ ー ス

第482号 1994年 10月号
定価 ￥770 千実費

1994年10月1日 発行

編 集

発 行 人

発 行 所

工業技術院地質調査所
林 久 雄
株式会社実業公報社
東京都千代田区九段北1の7の8
〒102

Tel. (03)3265-0951 (代表)

振替口座 東京 00110-6-32466

麹町局私書箱第21号

印 刷

小宮山印刷工業株式会社

©1994 Geological Survey of Japan

●本誌は東京都の霞が関政府刊行物サービスセンター、八重洲ブックセンター(株)本店およびつくば市の友朋堂書店本店に常備してあります。品切れの際は店頭で注文してください。